

15の春

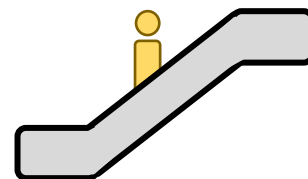


今日は公立高校の合格発表日でした。今年はウェブ発表となっており、各自が家のパソコン等を使い、合格発表を見ることができるようになりました。

以前のように高校に行き張り出された番号を見て、一喜一憂する光景はなくなりました。

今日で中学3年生の進路が確定します。4月からそれぞれの道を歩むようになります。15の春は大きな分岐点です。自らの力で道を作り出さなければいけません。

私はよくエスカレーターに例えて話をしていました。エスカレーターは自動で上の階に運んでくれます。中学3年卒業までは、このエスカレーターに乗って進級できます。しかし、



中学校卒業後の進路は自分で勝ち取らなければいけません。ですから、15の春は大人になっていく過程で大変大きな一歩となります。こうして成長の過程で社会を知ることになります。

ただ、15の春で全てが決まるわけではありません。進学先が決まるだけです。将来、どのようになるかは、まだまだこれから選択肢がたくさんあります。様々な可能性に挑戦し、自分を高めて、目指す道を歩んでほしいと思います。

ここで、卒業式前日に私が3年生に話した内容を簡単に紹介します。15の春から先について話をしました。3年生には胸を張って高校に進学してほしいと思います。

私は県立高校に落ちて、私立高校に行きました。そこで鍛えられて、奇跡の大学合格を得ました。今、思うと大事なのは、「**どこの高校に行くか**」ではなく、「**高校でどう頑張るか**」です。高校進学の際は、上級学校への進学や就職等です。その目的のために高校に行くのであって、高校合格は最終目標ではありません。自分が行くことになった高校で、頑張ってください。そして3年後に自分がめざす次の進路に進むことができるようにしましょう。

